

会議録（ご意見等取りまとめ結果）

（1）開催概要

会 議 名	令和2年度第2回いずみおおつ健康食育計画推進委員会 （書面開催）
出 席 委 員 （名簿順表記）	上野委員（委員長）、植田委員（副委員長）、杉本委員、 中南委員、辻内委員、江上委員、藤田委員、土井委員、 皆川委員、中野委員、佐古委員、大野委員、東委員、 和田委員、南川委員、花見委員、松下委員、飯田委員
事 務 局	健康づくり課（竹内部参事兼課長、小門課長補佐、岡本課長 補佐、高場主査、上田、尾形、井上）
資 料	資料1 令和2年度いずみおおつ健康食育計画 目標値（モ ニタリング項目） 資料2 令和2年度の取り組みについて 参考資料1 泉大津市データヘルス計画（中間評価）につい て 参考資料2 令和3年度 組織機構の一部再編について

（2）ご意見等取りまとめ結果

<資料1についてのご意見等>

- 指標項目Dの「がんの年齢調整死亡率」等は今の活動が今後反映されていく
と思いますので、今の活動をより推進していきましょう。
- 高血糖治療域の割合のDについては個別支援の強化が必要ではないでしょ
うか。特に気になる方へは家庭訪問などを実施して生活実態をしっかり把握され
てみてはいかがでしょうか。
- メタボリックシンドロームはC評価で高血糖治療域の割合がDですが、高血
圧、脂質異常症の割合は評価されていますか。
→（回答）本計画の指標項目としては挙げておりませんが、高血圧、脂質異常症
の方の把握に努め、改善を目指し、事業に取り組んでいます。

- 高血糖予防へのとりくみの強化、学童期の歯磨き指導の強化をしていく必要を感じました。
- がん検診の受診率はB評価となっていますが、目標にはまだまだです。それは主治医から胃カメラ・大腸ファイバー・胸部レントゲン等の検査を勧められるので、市の検診を受ける必要がないのではと思われます。
- 現状維持が半分近くを占めており、概ねよい結果だと思いますが、令和2年度の結果については、新型コロナウイルス感染症の影響が様々なところに及んでいると思われます。経年で見えていく必要があります、引き続き令和3年度も継続して取り組みをすすめていくことが望まれます。
- 目標値をどのように設定しているのかわかりませんが、概ねどの項目も達成できそうな数値の中、検診の受診率現状値が、目標に対してかなり開きがあるなと思いました。

<資料2についてのご意見>

- コロナ渦の集団けんしんについて、今後のすすめ方の検討が必要と思います。
- 食育についての活動がすすんでいることがわかります。統一献立給食は泉大津らしさがでています。ただこのなかで、子どもたちへの食事では何が大事と伝えられていくのか、おいしい料理というのも大事ですが、野菜、又は栄養バランスなど、なにを強調されているのかがわかればよりいいと思います。
- 私は他市在住ですのでありませんが、泉大津の場合は、特定健診未受診者には保健センターから受診のうながしの返信が入るときいてます。クリニック受診者は時期がきたら、私がすすめて受けさせていますが、来られない方への広報活動をさらにすすめていただくのがよいのかと思います。FM泉大津とかにCMでも出しましょうか。

○わくわく食育体験では、8割の新規参加者がおられた事は、とても良いことだと。新型コロナの影響も最小限におさえられる企画であったのかと。

○基本方針2について

おづみんカレーですが、市内の喫食した子どもの保護者にも喫食の機会を考えてほしいです。市内の飲食店に協力を求める等して給食そのままのレシピを提供し、再現してもらおう等、どうでしょうか。親子で給食を共有できる事で、食育に対する意識が高まると思います。

→(回答) おづみんカレーのレシピについては、市内幼稚園、認定こども園、保育所、小中学校の児童、生徒にお知らせの中で紹介しておりますので、ぜひご家庭で一緒に作っていただければと思います。また、新型コロナウイルス感染症の状況により、事業が再開した折には、親子クッキングの中でおづみんカレーの調理体験も取り入れていければと考えております。

基本方針3について

市役所ロビーのパネル展示は本当に見る人が少ないと思います。あと、幼稚園、こども園にある“食育ひろば”などの掲示物については、誰一人見ていないんじゃないかといった感想を持っています。駅前の商業施設の中や、公園内に期間限定で、移動掲示板を出現させる等して、多少は見る人が増えるのかなと思います。

→(回答) 3月15日からの市役所ロビーのパネル展示については、泉大津薬剤師会にご協力いただき、パネル展示前で啓発物資を配付いただきました。その際、準備していただいていた啓発物資が1日で無くなったことを鑑みると、展示を目にしてくださる方は少なくないと考えております。ご提案いただきました、駅前商業施設の中での展示等につきましては、展示の機会があれば活用していきたいと考えております。

<参考資料1、2についてのご意見等>

○健康こども部の新設は子どもの健康、育成に重点をおいていると評価できるが、健康の維持、増進はシームレスに幼少期から高齢まで行われるものであるので、十分な連携に留意が必要と思われる。

○薬局店頭において、高血糖予防に対する声かけができるように、薬剤師会としてのとりくみを検討していきたいと思います。

○特定健診についても、医院での受診は予約が必要であり主治医から勧められた時に、尿・血液検査をしてもらった方が簡単ですので、指標判定C評価だと思われれます。

○令和2年度は、新型コロナの影響で行事もほぼなく、データの数字としては、通常とは違うかも知れませんが、これからのデータとの比較がカギとなると思います。

○検診について

私自身、以前は勤務先から健診を受けており、現在は夫の勤務先が属する健康保険組合の健診を受けています。ただ、産後に日程が合わず、組合の健診を受けそびれた際、広報で検診案内を見ました。その時に感じた事などを中心に提案します。

- ・ 広報紙に“特定健診のお知らせ”等ありますが、見出しはもっとシンプルにして、まず“特定健診を受けましょう”等にする。また会場の簡単な案内図、所要時間など初めての人の少しイメージがわくような具体的な記載。あと、子ども連れで回れるのか？託児は？駐車駐輪サービスに関する案内の記載などあるといいなと思いました。
- ・ 検診日程のふれあいバスの増便。
- ・ 検診週間もしくは月間と名付けて、一年を通して、いつ検診があるのかを市民誰もがわかるようにする。
- ・ 選挙活動のように、検診日程前のタイミングで、市長が車に乗ってもしくは、健康を意識させるイメージのジョギングをしつつ、“検診受けましょう”のスピーチをして回る。
- ・ 自治会などの地域の団体に働きかけて、長寿園や土日の小学校の空き体育館を利用して検診会場を設ける。その案内を回覧板で回し、参加を募るなどしたり、近所の知り合いに検診案内の紙を渡してもらおう。

さまざまなお意見・ご感想等いただきましてありがとうございました。

いただきましたご意見に関しましては、今後の事業の参考とさせていただき、さらなる健康と食育の推進に取り組んでまいりたいと思いますので、今後ともご協力のほどよろしく願いいたします。